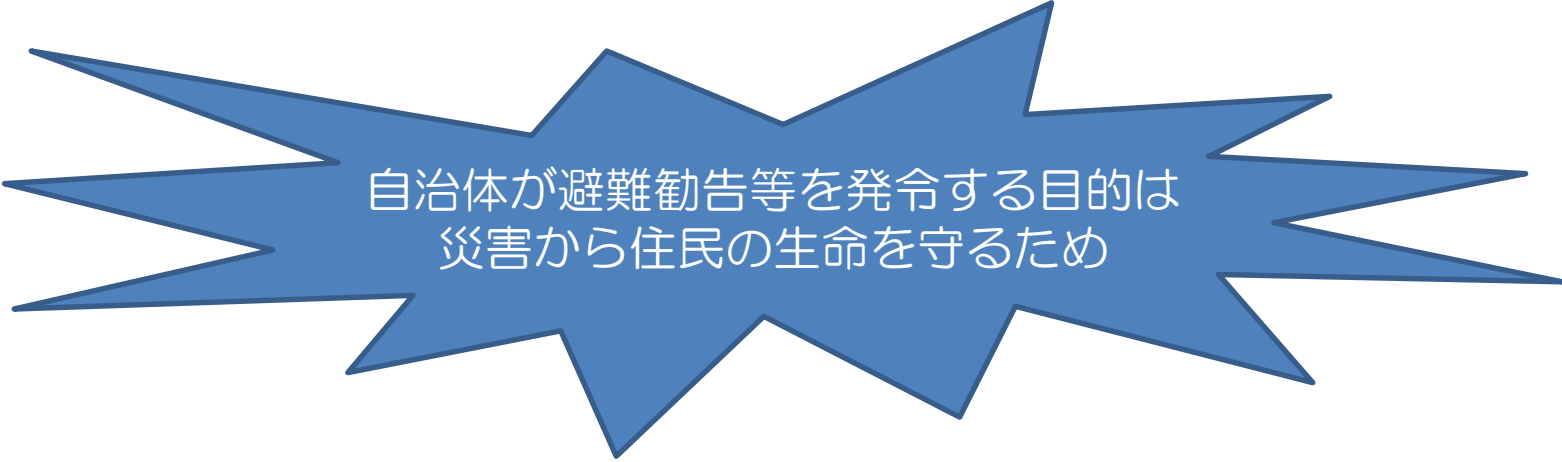




今治市における災害 時の避難勧告等発令 について

平成30年10月4日

避難勧告等は、空振りをおそれず、早めに出す



自治体が避難勧告等を発令する目的は
災害から住民の生命を守るため



ただし!

空振りが続くと、住民はどうしても慣れっこになり、
避難勧告等に対する信頼度の低下を招く。

実際に発令をする際には

大きな地域に発令するのではなく、
出来る限り地域を絞り込み、
より確実な情報にして、
情報の信頼度維持に努めることが
必要。

避難勧告等のフラグが立ってから、
実際に発令するまでには、
慎重な多くのアナログ作業



たとえば

土砂災害判定メッシュ情報

河川砂防情報システム

5kmメッシュ

必ずお読みください (解説と利用方法)

地図の凡例

中心点移動 緯度経度表示 危険度グラフ表示 スネーク図表示

観測時刻 2017年05月15日 18時30分

観測時刻の表示切替え

<戻る 進む> 時刻指定 最新

スケール指定 250000 +拡大 -縮小

地図に重ね合わせる情報の選択

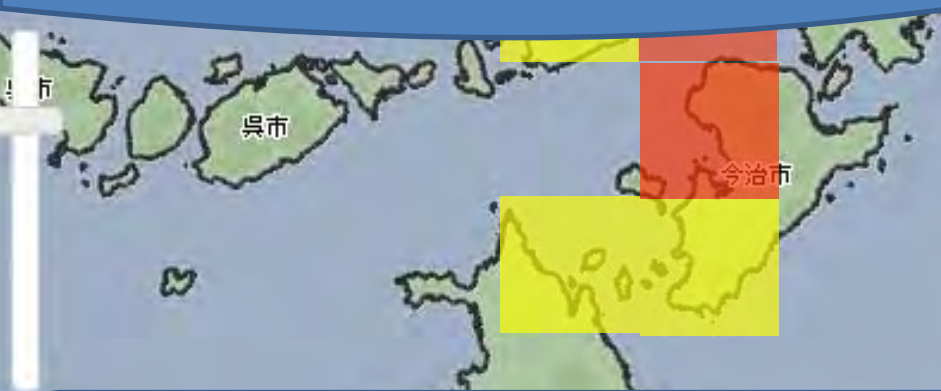
地図情報の選択

凡例 危険度レベル

- 現在基準値を超過
- 1時間後に基準値を超過
- 2時間後に基準値を超過

5kmメッシュは広範囲にわたるため、一つのマスの中には海岸から山間部まで多くの地域が含まれる。

どの作業も ミスは許されない



	自分の安全を確保す	
	<予想で土砂災害警戒情報の基準*に到達> 土砂災害がいつ発生してもおかしくない 非常に危険 な状況。速やかに土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所へ避難する。	避難勧告
	<実況または予想で大雨警戒の基準に到達> 土砂災害への 警戒 が必要。避難準備をし、早めの避難を心がける。	避難準備・高齢者等避難開始
	<実況または予想で大雨注意報の基準に到達> 土砂災害への 注意 が必要。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	-
	<実況及び予想で大雨注意報の基準未達> 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意	-

不必要な発令を防ぐため、5kmメッシュ情報が出たら、そのメッシュにどういう地域があるのか？ その地域の状況は？ などなど、詳細な発令区域の絞込みには、想像以上の時間を要する。

更に、防災行政無線や緊急速報メール等、アラートを含む様々な情報伝達手段へのオペレーション

報を発表していますが、

危険

意

まとめ

避難勧告等の発令は非常にデリケートであり、確実な情報が求められる。

発令までには、多くのアナログ作業を慎重に進めなければならない。

以上

要望事項

避難勧告等発令情報や避難所情報等について、新たな情報と既に発令済みの情報とを分けて表示してほしい。

- ・例えば、避難所を追加開設する場合、前回との差分だけでなく、既開設箇所を含めて表示されるので、別途わざわざ補足情報を入力する必要がある。
- ・文字情報の入力作業に手間をとられる上、人為的ミス
の危険性がある。